

提案団体名： ヘカバイオデジタルヘルス株式会社 (複数団体による提案も可とします)

○提案内容

(1) 自社の保有するスマートアイランドの実現に資する技術と実績等	技術の分野
<p>弊社は、イスラエルのヘルシーアイオー社が開発した、スマートフォンを用いて尿検査を医療機関と同程度の精度で行うことのできる機器について日本における独占販売契約を有している。</p> <p>当該機器は、尿試験紙、スマートフォンアプリで構成されている。尿に浸した試験紙の色変化をアプリの音声ガイドに従って使用者がスマートフォンの写真撮影機能によって読み取ると、解析がなされ、医療機関で現在行われているのと同程度に正確な尿検査結果が医師等医療関係者に共有されるというものである。3種類の商品があり、一般の健康診断と同様に尿中の一般検査項目10項目(白血球、亜硝酸塩、ウロビリノーゲン、たんぱく質、pH、グルコース等)を測定できる機器、尿中のアルブミン/クレアチニン比(ACR)を検査できる機器、尿路感染症の有無を判定できる機器、というものである。すでに既存の医療機器と同じ精度の正確性を有する機器であるとして米国FDAから販売承認を受けている。</p> <p>実績については、まず、当該機器の販売については、米国、英国、オランダ、イスラエルですでに販売開始されており、累計15万人の利用者がいる。また実証についてもこれまでに各国でこれが行われてきている。現在進行中のももあり、英国では国民保健サービス(NHS)主導の実証プロジェクトにおいて、東ロンドンのパーキング(Barking)という都市で2020年2月から、700人を対象として当該機器の使用に関する実証が行われている。また、オランダでは、ヘルシーアイオー社、フローニンゲン大学、オランダ腎臓財団の連携の下、2019年末から、ブレダー(Breda)という都市で、15,000人の腎疾患患者を対象に重症化の予兆のある患者を特定する目的の実証が行われている。</p> <p>日本でも弊社独自に東京インターナショナルクリニック院長永野医師監修の下、都内在住の患者に対して実証を行うこととなり現在準備を進めているところ。</p>	<p>下記のうち、該当するものを○で囲んでください。</p> <p>交通・モビリティ エネルギー 物流 防災 観光 教育 健康・医療 環境 産業 担い手確保・人材育成 その他</p>
(2) (1)の技術を用いて解決する離島の課題のイメージ	
<p>離島振興基本方針にある通り、日本の離島の4割は医師が不在で離島における医療の確保は大きな課題と考える。弊社が独占販売権を有するヘルシーアイオーの尿検査技術に加え、同じスマートフォンアプリでテレビ電話での医療関係者との診療・相談も可能となることから弊社の技術がこの課題解決に資するものとする。</p> <p>中でも、妊婦の健康診査及び生活習慣病患者の重症化予防について有用であるとする。</p> <p>妊婦の健康診査について、当該機器を用いることでその一部である尿検査については本土へ渡らずにこれを代替することが可能となる。例えば離島在住の妊婦が妊娠糖尿病(日本糖尿病学会・妊娠学会の調査で約7-9%の妊婦において発生)になったとしても離島にいながら尿検査を行えるため医師が予後を確認できるという利点もある。妊婦が診療所に通う回数や島外に滞在する期間を減らすことができれば、これに必要な支出の抑制効果も期待できる。</p> <p>また、糖尿病、慢性腎臓病等生活習慣病を抱える患者はこれが重症化して透析導入などに至ると非常に大きくQoLが低下してしまう。特に診療所の数が限られている離島の住民としては、診療所受診自体が難しく医師による管理を受けることが困難であると考えられる。これに対して、上記のアルブミン/クレアチニン比を計測する機器を使用することで、このような重症化に至る可能性のある患者の早期特定、医師による予後の確認が可能となるため、離島住民の健康寿命延伸に貢献できる。</p> <p>このように弊社の技術により、離島住民の医療の確保という課題解決にスマートフォンを介して貢献することが可能となると考える。</p>	
(3) その他	
<p>在日イスラエル大使館としても、日本におけるヘルシーアイオー社の展開及びそのパートナーである弊社に対しては、サポートを約束している状況。当該提案書の提出に当たっても大使館として問い合わせに応じる旨については確認済み。なお、2018年6月には、イスラエル政府及び在日イスラエル大使館がアレンジしたデリゲーションの一員としてヘルシーアイオー社が来日(その際の資料については以下のURLを参照)。</p> <p>https://israel-keizai.org/wp/wp-content/uploads/2018/06/Healthtech_Catalogue_JP_A5.pdf https://israel-keizai.org/events/event/digital_health_smbc_june19_2018</p>	

- ※(1)(2)について、複数ある場合は項目毎に対応の記載をお願いします。
- ※既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、別途そのプロジェクト単独での提案も可能です。
- ※参考資料がある場合は適宜添付をお願いします。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
ビジネスディベロプメント	小谷野祥浩	03-6910-3818	yoshihiro.kovano@hekabio.com